

1 調査名称：芳賀町都市交通マスタープラン及び都市・地域総合交通戦略

2 調査主体：芳賀町

3 調査圏域：芳賀町全域

4 調査期間：平成27年度

5 調査概要：

本市の都市交通計画は、これまで都市計画マスタープランにおいて取り扱われてきた。近年、高齢化や少子化の進展など社会状況の変化が生じていることや、現在宇都宮市と協働で導入を検討しているLRTを軸とした公共交通ネットワークの形成に伴い交通体系に大きな変化が生じることから、まちづくりと一体となった総合的な都市交通マスタープランが求められている。

そこで、本町の人口動態などの社会情勢や交通実態、町民の交通に対するニーズなどを具体的に把握することで、本町が抱える交通課題を整理し、都市交通マスタープランと交通政策のアクションプログラムとなる都市・地域総合交通戦略の策定を行う。

なお、本計画の策定にあたっては、平成27年度において策定された第6次振興計画や都市計画マスタープランとの連携についても検討し、芳賀町らしい計画を策定する。

## I 調査概要

### 1 調査名称：芳賀町都市交通マスタープラン及び都市・地域総合交通戦略

### 2 報告書目次

#### 序 章 都市交通マスタープラン及び都市・地域総合交通戦略とは

1-1 計画策定の背景・目的

1-2 計画の位置づけ

1-3 計画の目標年次

1-4 計画の策定体制

1-5 計画の構成

#### 第2章 上位・関連計画等の整理

2-1 第6次芳賀町振興計画

2-2 芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略

2-3 宇都宮都市計画 都市計画区域の整備、及び保全の方針

2-4 芳賀町都市計画マスタープラン

2-5 芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画

2-6 L R T整備計画（概要）

#### 第3章 芳賀町の都市及び交通特性の把握

3-1 芳賀町の概況

3-2 人口の状況

3-3 施設の立地状況

3-4 道路網の状況

3-5 公共交通の状況

3-6 交通特性の現況

3-7 交通が環境に与える影響

3-8 交通に関する町民意識

#### 第4章 芳賀町の交通課題の整理

4-1 芳賀町の交通まちづくりに関する広域的な視点

4-2 社会情勢等の視点

4-3 交通の視点

4-4 芳賀町が抱える交通課題

#### 第5章 都市交通マスタープラン

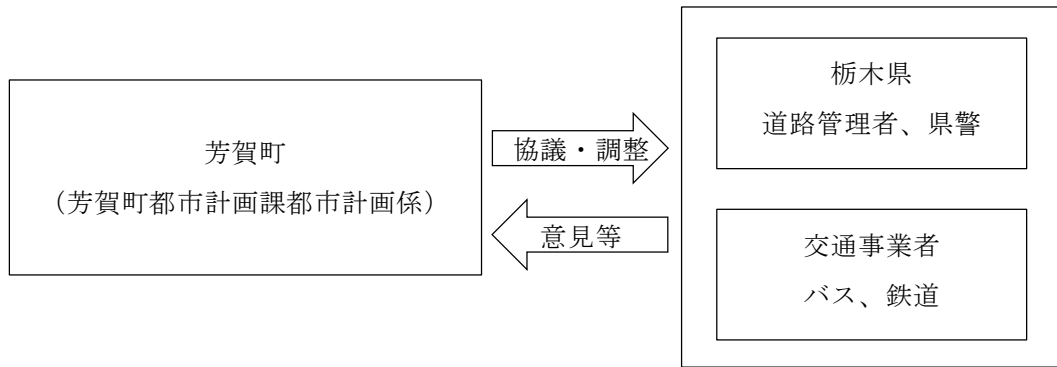
5-1 芳賀町が目指す将来都市像

5-2 交通政策の基本方針

## 第6章 都市・地域総合交通戦略

- 6-1 都市・地域総合交通戦略とは
- 6-2 総合交通戦略の区域
- 6-3 芳賀町が目指す将来像
- 6-4 芳賀町を取り巻く喫緊の課題
- 6-5 戦略目標の設定
- 6-6 実施プログラム
- 6-7 戦略事業の進行管理・推進体制

### 3 調査体制



## II 調査成果

### 1 調査目的

本町では以下に示すように、「少子超高齢・人口減少社会への備え」、「交通・生活基盤整備に伴うヒト・モノ・情報などの流れの変化」、「交通体系の変化」への対応が求められており、持続可能な都市構造への転換期を迎えていることから、本調査を実施するものとする。

#### ① 少子超高齢・人口減少社会への備え

本町では、人口減少の歯止めを掛けるべく、“まち・ひと・しごと創生法”に基づき地方創生に係わる取り組みが進められており、少子超高齢化・人口減少による生産力の低下、行政サービスの運営財源の確保が困難になることが予測されている。この対応として、定住人口の促進に向けた様々な対策が検討されているなか、交通分野においても地方創生に資する交通基盤の整備が求められている。

#### ② 交通・生活基盤整備に伴うヒト・モノ・情報などの流れの変化

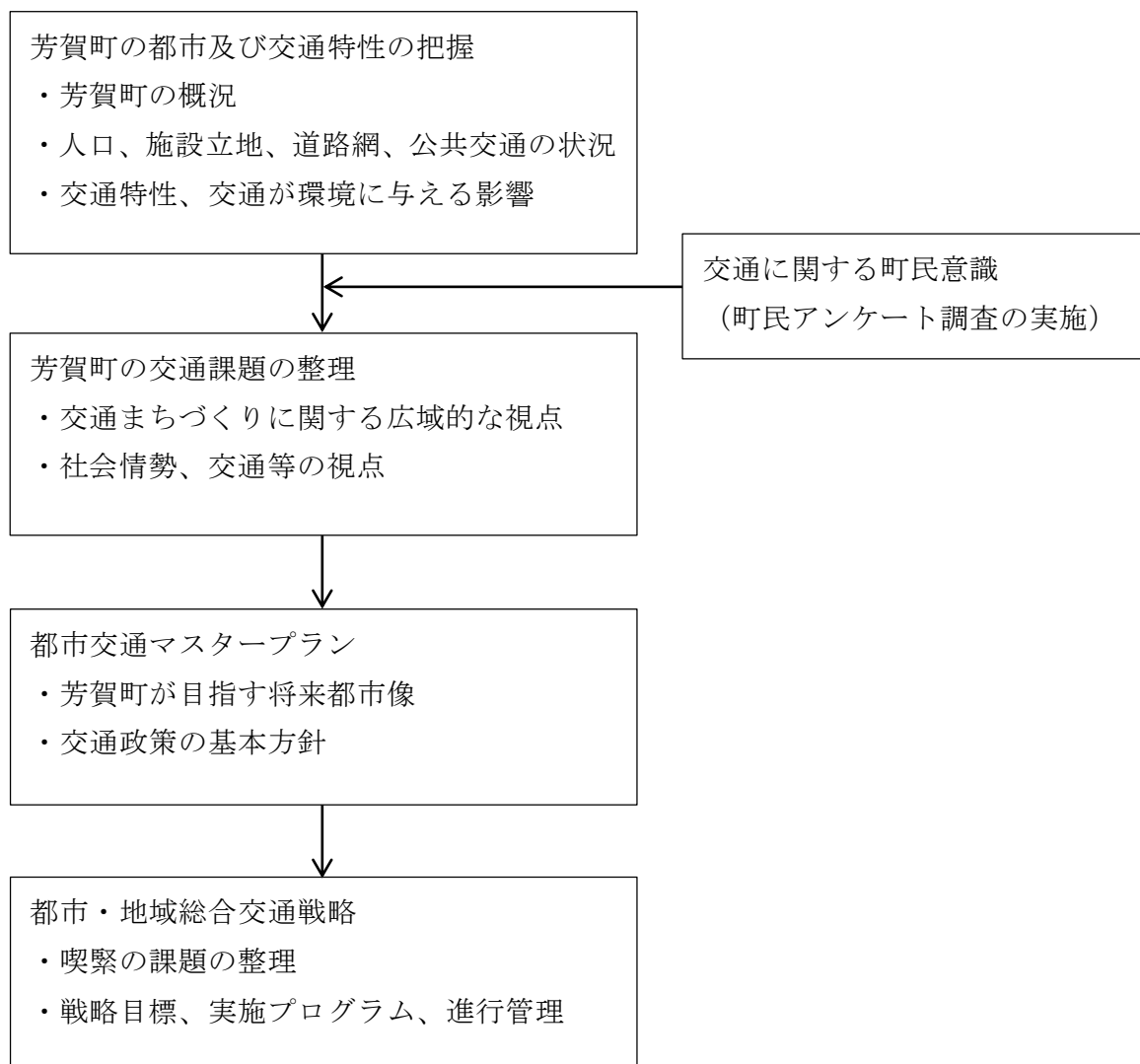
本町の中心地である祖母井市街地では、祖母井南部土地区画整理事業が施行され、主たる産業である農業を支える環境整備や転入人口の誘導を図るための環境整備が進められている。また、平成 25 年に主要地方道宇都宮茂木線（芳賀バイパス）が供用されるなど、本町を取り巻く人やモノ・情報などの流れが変わってきている。このような地域の状況を踏まえつつ、既存の交通インフラを活かし、交通機関の効果的な連携と効率的な配置を進めていく必要がある。

#### ③ 交通体系の変化

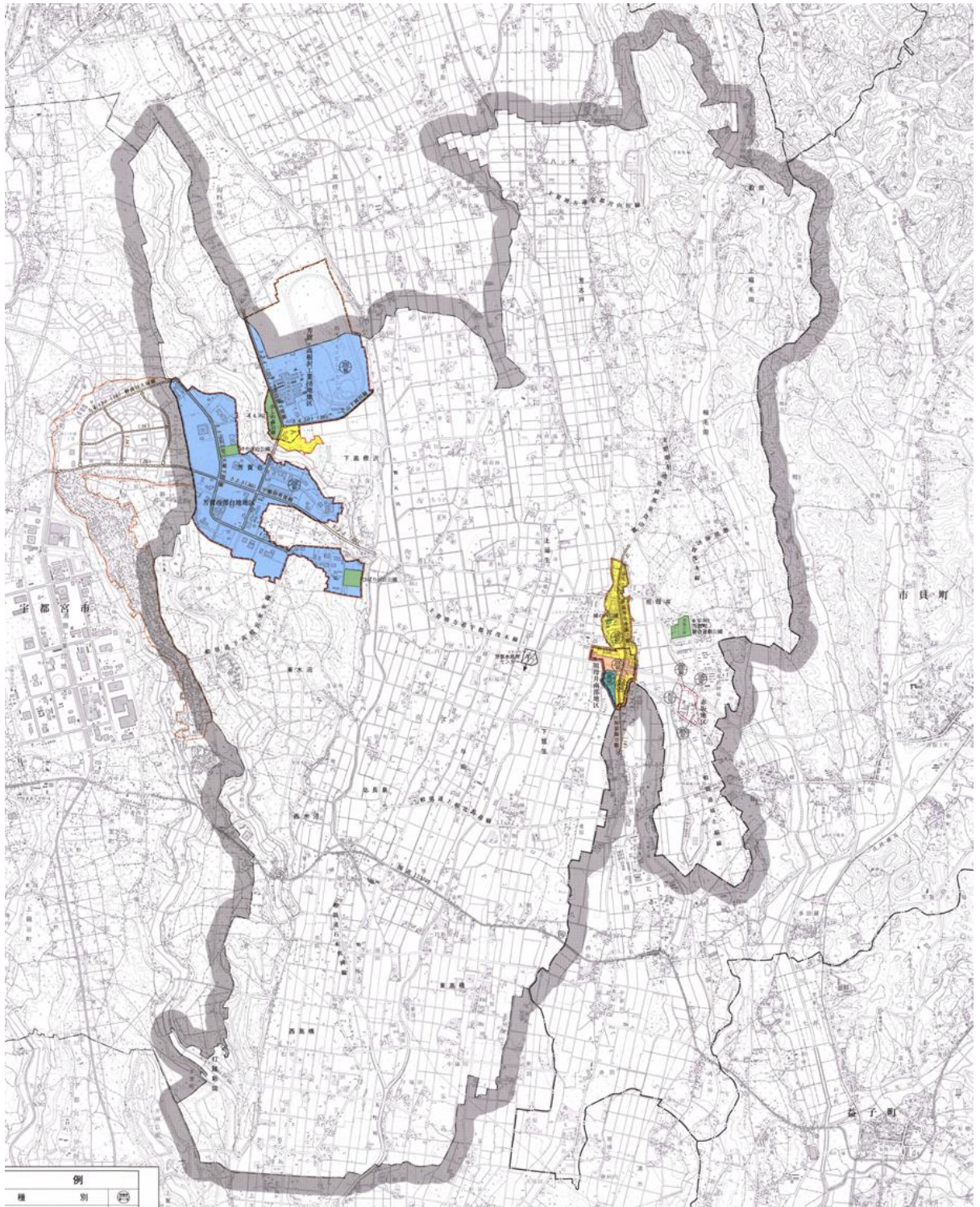
本町においては、平成 31 年度の開業を目指す L R T を中心とした新たな公共交通体系の構築の機運が高まっており、本町の将来のまちづくりを踏まえた交通体系のあり方や交通政策の基本的な方向性などを明確にする必要がある。これにより、歩行者や自転車、自家用車、路線バスやデマンド交通などが相互に連携し、その機能を十分に活かせる、総合的な交通ネットワークの確立を目指す。

これらの社会情勢の変化に対応するため、まちづくりと都市交通が一体となった総合的な交通政策が重要であり、戦略的に実行するための計画づくりが求められることから、都市交通マスタープラン及び総合交通戦略を策定する。

## 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



## 4 調査成果

### (1) 芳賀町の交通課題



芳賀町が抱える交通課題

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| (1) 広域連携による交通ネットワークの強化 | (4) 環境負荷低減への対応        |
| (2) 生活道路等の安全・安心の強化     | (5) 防災・減災に対応した道路基盤の強化 |
| (3) 町民の多様化する交通ニーズへの対応  |                       |



## (2) 基本構想図


本町の交通課題を踏まえ、将来のまちづくりの目標である“2つの拠点によるコンパクトな都市づくりの継続”と“ネットワークの強化”を支える交通体系の構築を目指す。

### 【 将来の交通像 】

拠点の名称	配置の考え方
産業拠点 (芳賀工業団地、 芳賀・高根沢工業団地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の構造改革に対応しながら工業機能の再編・強化を図る</li> <li>既存地区周辺に新規工業団地の創出を図る</li> <li>宇都宮市からのアクセス性を活かした工業機能の充実を図る</li> </ul>



拠点の名称	配置の考え方
居住拠点 (祖母井市街地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住と不足している都市機能の誘導を図る</li> <li>歩いて暮らせる魅力ある市街地の形成を図る</li> <li>LRTへのアクセス性の向上を図り、交流人口の増加を図る</li> </ul>



交通機関	求められる機能と整備の方針
L R T	<ul style="list-style-type: none"> <li>芳賀町から宇都宮中心市街地へのアクセス性の強化</li> <li>高齢者や学生など誰もがスムーズに移動できる環境</li> <li>L R Tへの利用転換に伴う芳賀工業団地周辺の交通渋滞の緩和</li> <li>地球温暖化対策への貢献</li> <li>芳賀町全体のまちづくりへの波及効果を創出するため、祖母井市街地への軌道の延伸整備を行い、さらなる交通ネットワークの充実を図る</li> </ul>
バ ス	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の宇都宮市・市貝町・茂木町への東西方向の移動機能</li> <li>従来の真岡市への南方向の移動機能</li> <li>L R Tなどの連携を図ったバス路線のフィーダー系統化による再編</li> <li>L R Tを利用する工業団地通勤者の停留場からの移動手段の確保</li> </ul>
デマンド 交通 ひばりタ クシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の高齢者を主とした通院や買い物のための移送サービスの提供</li> <li>L R Tやバス交通との連携の強化</li> <li>児童・生徒なども利用しやすい新たな移送サービスの確立</li> </ul>
歩行者	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住拠点において、歩いて暮らせる市街地の形成を図るため、歩行者ネットワークの形成を目指す</li> <li>特に、小・中学校周辺において児童生徒の安全な登下校の確保を目的に、道路の危険な箇所や狭隘幅員道路における道路安全施設の設置を図る</li> </ul>
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車と歩行者の安全性の向上を図るため、自転車ネットワークの形成を図る</li> </ul>



### (3) 基本方針

本町の将来都市像の実現に向けた交通政策の展開が求められることを踏まえ、本町の交通まちづくりの視点及び基本方針と個別施策を次のように掲げる。

#### 【 交通まちづくりの視点 】

## 地域・ひと・しごとを“支え・つなげる”芳賀の交通まちづくり

### 地域・ひと・しごと

本町における日常の生活行動や生産活動を支え、地域全体に寄与する交通基盤を構築する。

### “支え・つなげる”

移動需要の高い宇都宮市や真岡市など近隣市町との連携を図るため、交通アクセス性の向上を図る。

### 芳賀の交通まちづくり

本町が目指すべき将来都市像の実現に向けて、まちづくりに貢献する交通政策を着実に展開する。

#### 基本方針と個別施策

#### 基本方針の概要

#### 基本方針1 広域連携の交通ネットワークの構築

- 施策① LRTの導入（町内区間の軌道整備）
- 施策② 交通結節点（トランジットセンター）の整備
- 施策③ 幹線バス路線の再編
- 施策④ ICカードの導入

ヒト・モノ・情報などの交流を促進する広域連携の交通ネットワークの構築に向けて、交通結節点の整備によるLRT・バス路線の利活用、幹線バス路線の再編成、LRTやバスのスムーズな乗り換えと割引サービスの提供媒体となるICカードの導入など、LRTを中心とする交通施策を推進します。

#### 基本方針2 誰もが安全安心に移動できる交通環境づくり

- 施策① 自転車ネットワークの形成
- 施策② 歩行者ネットワークの形成
- 施策③ 道路安全施設の整備

誰もが安全で安心に移動できる交通環境の整備に向けて、祖母井市街地周辺などで自転車通行帯などの整備による自転車ネットワークの形成、歩道の整備による歩行者ネットワークの形成、カーブミラーの設置など、道路環境の安全対策となる交通安全施設の整備を推進します。

#### 基本方針3 利用しやすい地域公共交通の継続運営

- 施策① ひばりタクシーの運行サービスの改善
- 施策② スクールバスの継続運営
- 施策③ 地域公共交通の継続的運営支援

将来においても地域の移動手段として活躍するひばりタクシーの運営を持続し、さらなる利便性の向上を図ります。ひばりタクシーの運行により高齢者をはじめとする日常生活の移動支援とともに高齢者の交通事故の未然防止に努めます。児童生徒の移動に欠かせないスクールバスも含め、利用しやすい地域公共交通を継続的に運営します。

#### 基本方針4 環境と人にやさしい交通まちづくり

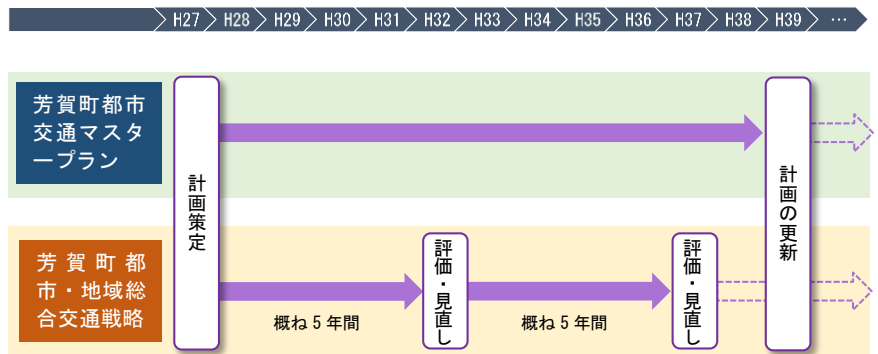
- 施策① 公共交通情報の提供
- 施策② 公共交通の利便施設の整備
- 施策③ 避難路・避難場所の整備
- 施策④ 道路舗装の修繕・維持管理

環境と人にやさしい交通まちづくりに向けて、町民や町内の従業者に対し普段から公共交通を利用する習慣化を図り、温室効果ガスの排出量の抑制とともに、歩行機会増加による健康増進へとつながる施策を推進します。さらに、防災や減災に対する備えとして、道路幅や避難路の整備などを推進します。

#### (4) 芳賀町総合交通戦略の概要

##### ① 目標年次

戦略の期間は、概ね5年から10年先を目標とする。また、5年後、10年後に事業の評価検証を実施し、必要に応じて見直しを行う。



##### ② 目指す将来交通像

(交通機関別の将来の状況)

###### LRT :

- ・既存にない交通機関のため将来像を目指し着実に事業を推進する。

###### バス :

- ・LRTとの交通結節機能から利用者数が増加し、公共交通の利用離れに歯止めがかかる。

###### ひばりタクシー :

- ・利用者数は増え、現状よりも安定的な収支状況が維持される。

###### 自動車 :

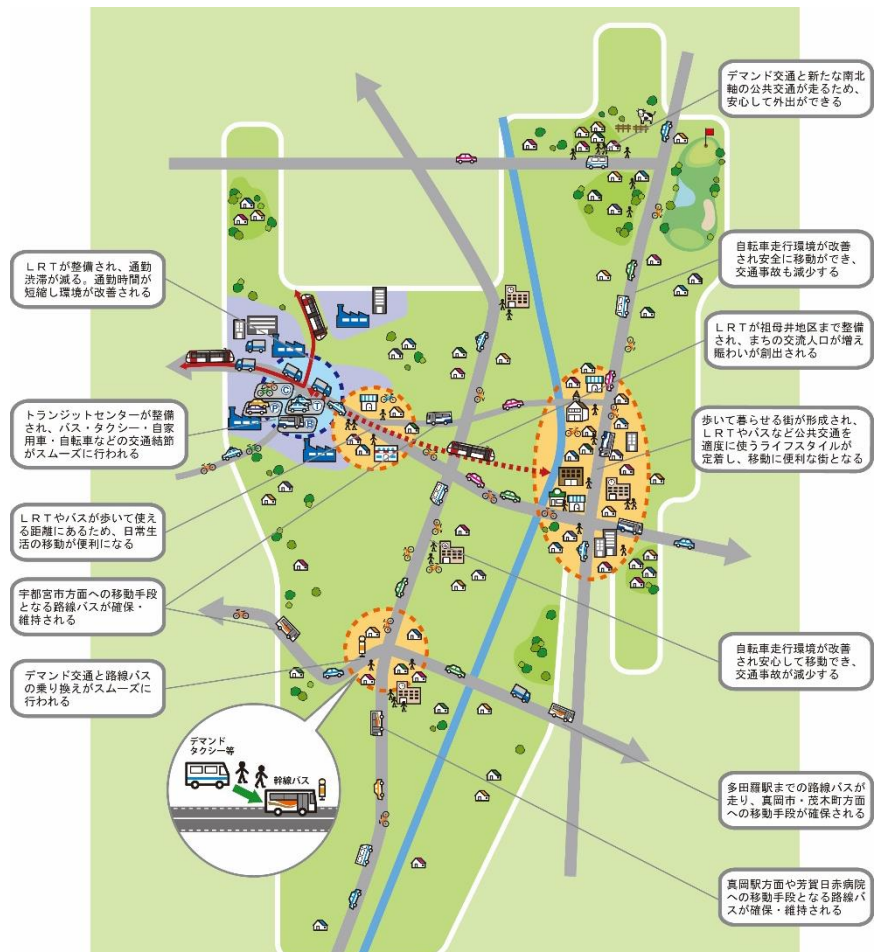
- ・適度に自家用車が利用され、円滑な道路交通が維持される。高齢者による交通事故が減少する。

###### 自転車 :

- ・自転車通行帯が確保され、自転車事故件数が減少する。

###### 歩行者 :

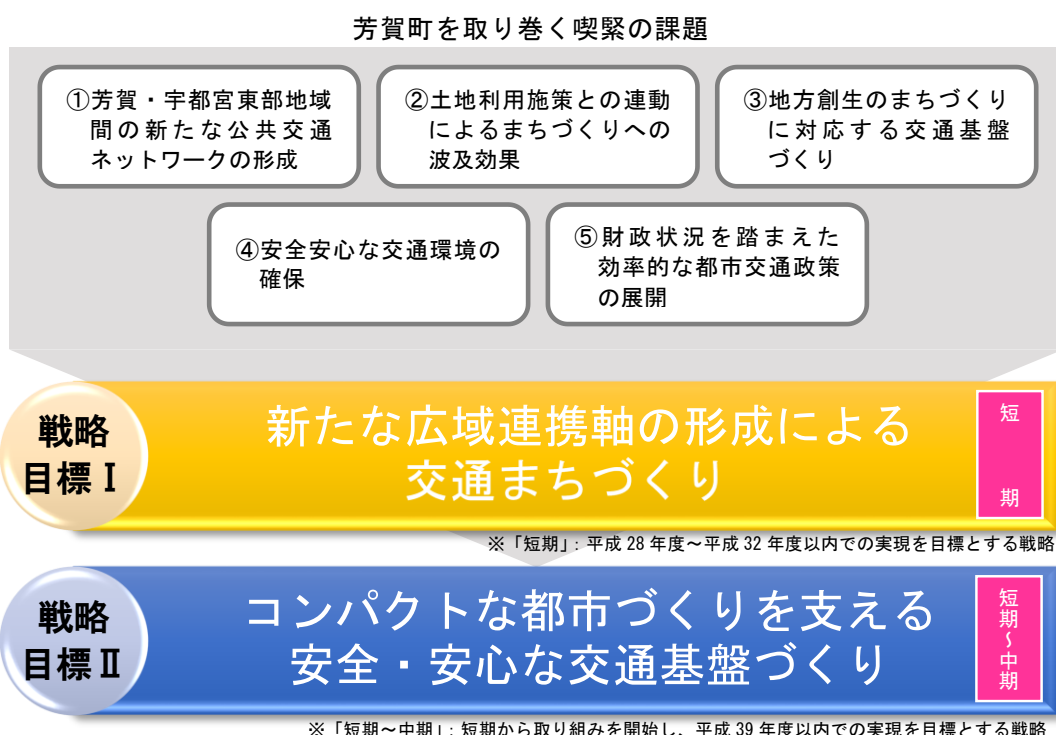
- ・居住拠点などでは、歩行環境が整備され、歩いて暮らせる環境となる。



## (5) 戦略目標

都市・地域総合交通戦略では、これらを踏まえつつ、今後の都市交通施策における優先順位を明確にするため、喫緊に対応すべき課題を整理し、着実に展開していくための交通戦略の目標（戦略目標）を設定する。

### 【 総合交通戦略の基本目標と評価指標 】



### 評価指標と数値目標

評価指標		数値目標	
		現況 (平成 27 年度)	将来 (平成 32 年度)
戦略 I	I-① LRT 利用者数	-人/年	⇒ (平日) 14,700 人/日
	I-② トランジットセンター利用者数	-人/日	⇒ (平日) 450 人/日
	I-③ 幹線バス利用者数	690,846 人/年	⇒ 692,000 人/年
戦略 II	II-① ひばりタクシーの年間利用者数	15,000*人/年	⇒ 20,000 人/年
	II-② 市街地の歩行環境に対する満足度	-%	⇒ 70%
	II-③ 町全域の交通環境に対する満足度	66%	⇒ 75%

## (6) 実施プログラム

戦略目標ごとに立てた施策パッケージの個別施策について、事業主体と整備スケジュールを実施プログラムとして以下のように取りまとめ、次年度以降、これらの事業推進を図っていくものとする。

【 総合交通戦略実施プログラム工程表 】

施策	具体施策	事業主体	戦略	短期					中期		
				H28	H29	H30	H31	H32	H33	...	
公共交通	LRT軌道及び停留場の整備	芳賀町・宇都宮市	I	■	■	■	■	■	■	■	■
	交通結節点（トランジットセンター）整備事業	芳賀町	I	■	■	■	■	■	■	■	■
	ICカードの導入	バス事業者	バス	I	■	■	■	■	■	■	■
		LRT運営事業者、芳賀町、宇都宮市	LRT	I	■	■	■	■	■	■	■
	幹線バス路線の再編	芳賀町、バス事業者	I	■	■	■	■	■	■	■	
	工業団地内循環バスの導入	芳賀町	I	■	■	■	■	■	■	■	
	バス停留所の上屋・ベンチの整備	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	
	公共交通の南北軸の確立	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	
	交通結節点（東野バス停留所「橋場」）の整備	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	
	ひばりタクシーの改善	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	
わかりやすい公共交通情報の提供	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■		
自動車・自転車・歩行者	道路安全施設の整備	芳賀町・警察	II	■	■	■	■	■	■	■	
	都市計画道路3・4・502号祖母井中央通りの整備	栃木県・芳賀町	(中部)	II	■	■	■	■	■	■	
			(北部)	II	■	■	■	■	■	■	
生活道路の整備	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■		
自転車	自転車走行空間の整備	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	
歩行者	歩行者ネットワークの形成	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	
モビリティ・マネジメント	モビリティ・マネジメント	芳賀町	II	■	■	■	■	■	■	■	

注) 破線：関係機関との検討・調整・準備・着工期間

実線：完成・供用・実施済み

## (7) 戦略事業の進行管理・推進体制

### ① 総合交通戦略管理運営組織（協議会）の発足

本町が目指す将来の交通体系の実現に向けて、戦略事業の着実な進行管理を行い、継続的・発展的な取り組みとなるよう、平成 28 年から新たに運営組織を発足する。本組織を「総合交通戦略のマネジメント組織」として位置づけ、P D C A サイクルにより都市交通政策を効果的に展開していくものとする。

#### 〔組織のメンバー（案）〕

学識経験者	宇都宮大学 など
交通事業者	バス事業者、タクシー事業者 など
道路管理者	真岡土木事務所保全課、芳賀町建設課
交通管理者	真岡警察署
町民その他	まちづくり委員（都市基盤）
地方公共団体	栃木県（都市計画課、都市整備課、交通政策課、道路整備課、道路保全課） 芳賀町（総務課、企画課、子ども育成課、商工観光課、都市計画課）

### ② P D C A マネジメントサイクルの実施

戦略事業の進捗状況に合わせて、定期的に評価指標のモニタリングを実施しながら、個別の交通施策の効果を確認し、さらに、その達成度の検証を図りながら計画の見直しを行う。

